

水上教授も参加

焼岳爆発を調査研究

焼岳の爆発を系統的な方法で調査研究するため、東京地震研究所、火山物理研究所、水上武教授、二八日夕上高地に入山し、四日間、上高地の安曇村に滞在し、火山物理研究所の調査隊と協力して、二八日午後六時、焼岳の噴火を観測した。水上武教授は、火山物理研究所の調査隊と共に、焼岳の噴火を観測した。水上武教授は、火山物理研究所の調査隊と共に、焼岳の噴火を観測した。



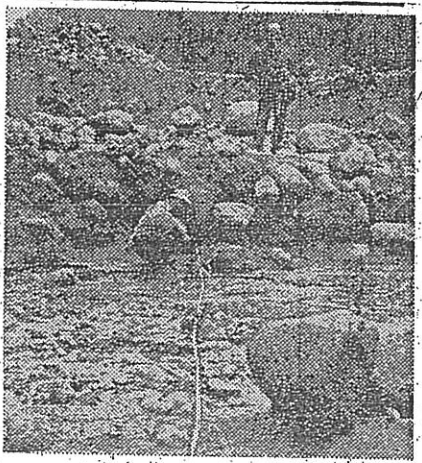
地震計を調べる水上教授(向こう側)

水上武教授の調査は、焼岳の噴火を観測し、火山物理研究所の調査隊と共に、焼岳の噴火を観測した。水上武教授は、火山物理研究所の調査隊と共に、焼岳の噴火を観測した。

噴火の調査は、火山物理研究所の調査隊と共に、焼岳の噴火を観測した。水上武教授は、火山物理研究所の調査隊と共に、焼岳の噴火を観測した。水上武教授は、火山物理研究所の調査隊と共に、焼岳の噴火を観測した。

噴火による泥流

焼岳上堀の泥流を調査する水上教授が確認

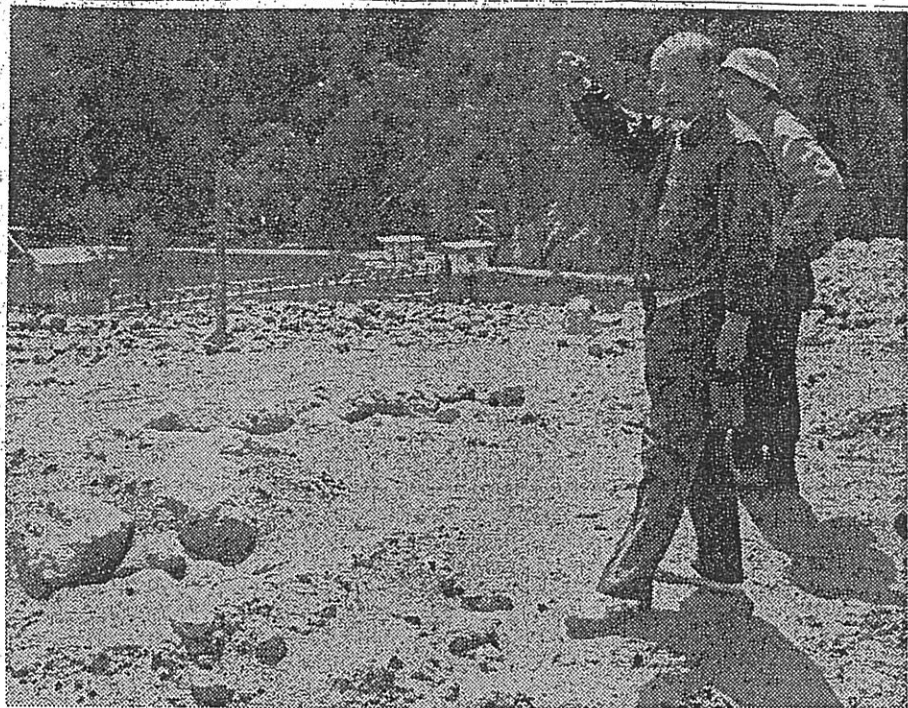


焼岳上堀沢の泥流を調査する水上教授(向こう側)ら

二八日夕刻、上高地に入山した東京地震研究所水上武教授は、二九日焼岳山への地質調査を終り、上高地の東地蔵堂まで来た。この結果、これまで大正池の泥流は、噴火による泥流を流すことが確認された。この泥流は、大正池の梓川を完全にはせき止めていない事実を確認した。

この泥流は、大正池に面した焼岳山頂付近から西側に約一・五キロメートルの範囲に広がっている。この範囲は、大正池の泥流は、噴火による泥流を流すことが確認された。

水上教授によると、この泥流は、焼岳山頂から梓川に達する上堀沢が急斜面のため、火山口付近の流出物と大量の降灰がわずかな雨でも、ドロドロのコンクリート状になり、流れたというものである。この泥流は、大正池の泥流は、噴火による泥流を流すことが確認された。



焼岳の泥流を調べる水上教授—大正池の東麓取水口付近

近い将来大爆 発の危険ない

【本報・水戸通信】

二十八日の夜、上野原の焼岳
噴火後の現地調査をこなした東大
地質研究所の水上教授は、三十日
夜、「また山口海ではななな、不
出所、上野原が焼岳の噴火で、
この噴火の規模は、昭和二十九年
の噴火に、およそ同程度である」と
述べ、噴火の規模が、昭和二十九年
の噴火の規模に、およそ同程度である
と述べた。

この噴火は、昭和二十九年の噴火に、
およそ同程度の規模である。この噴火
は、昭和二十九年の噴火に、およそ同
程度の規模である。この噴火は、昭和
二十九年の噴火に、およそ同程度の
規模である。この噴火は、昭和二十
九年の噴火に、およそ同程度の規模
である。

と述べた。この噴火の規模は、昭和
二十九年の噴火の規模に、およそ同
程度である。

この噴火の規模は、昭和二十九年の
噴火の規模に、およそ同程度である。
この噴火は、昭和二十九年の噴火に、
およそ同程度の規模である。

この噴火の規模は、昭和二十九年の
噴火の規模に、およそ同程度である。
この噴火は、昭和二十九年の噴火に、
およそ同程度の規模である。

この噴火の規模は、昭和二十九年の
噴火の規模に、およそ同程度である。
この噴火は、昭和二十九年の噴火に、
およそ同程度の規模である。

この噴火の規模は、昭和二十九年の
噴火の規模に、およそ同程度である。
この噴火は、昭和二十九年の噴火に、
およそ同程度の規模である。

梓川をせまきこめる 焼岳の泥流

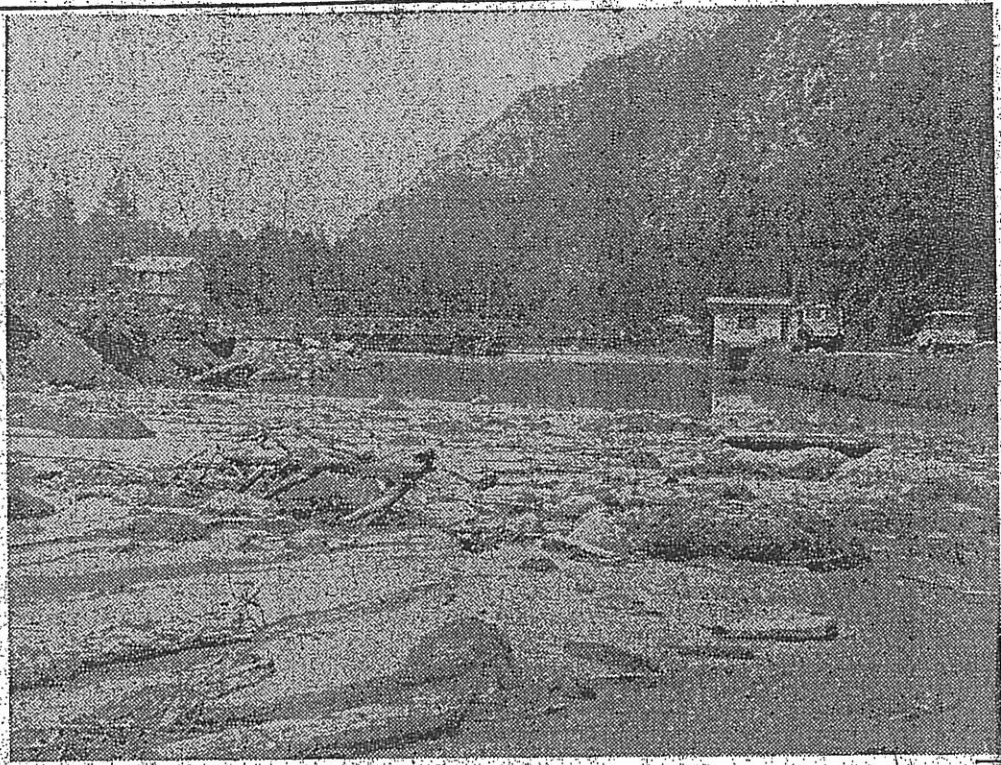
焼岳の泥流は、ここ数日米の雨のため土石を巻き上げて上流沢から上高地大正池の東京電力層沈発電所へん堤まきんの梓川に押し出し、五日には日本を穿つて来た。松本建設事務所は、いままで大正池がほらんらんのまきんがあらうとみて、六月、焼岳を調査、緊急対策をたしなむて来た。

正池がほらんら、災害がおきる危険があるという。このため松本建設事務所は、フルード・サトなど、よりあまき水が流れるところのみをせまきり、この間、建設費を協賛のうえ、本格的な対策をたてる準備をすすめている。

東電松本電力所の跡にいまも、梓川をせまきした泥流は、二万立方メートルのせまり、層沈発電所へん堤のまきんがあらうとみて、六月、焼岳を調査、緊急対策をたしなむて来た。

松本建設事務所は、いままで大正池がほらんらんのまきんがあらうとみて、六月、焼岳を調査、緊急対策をたしなむて来た。

7/6 信濃



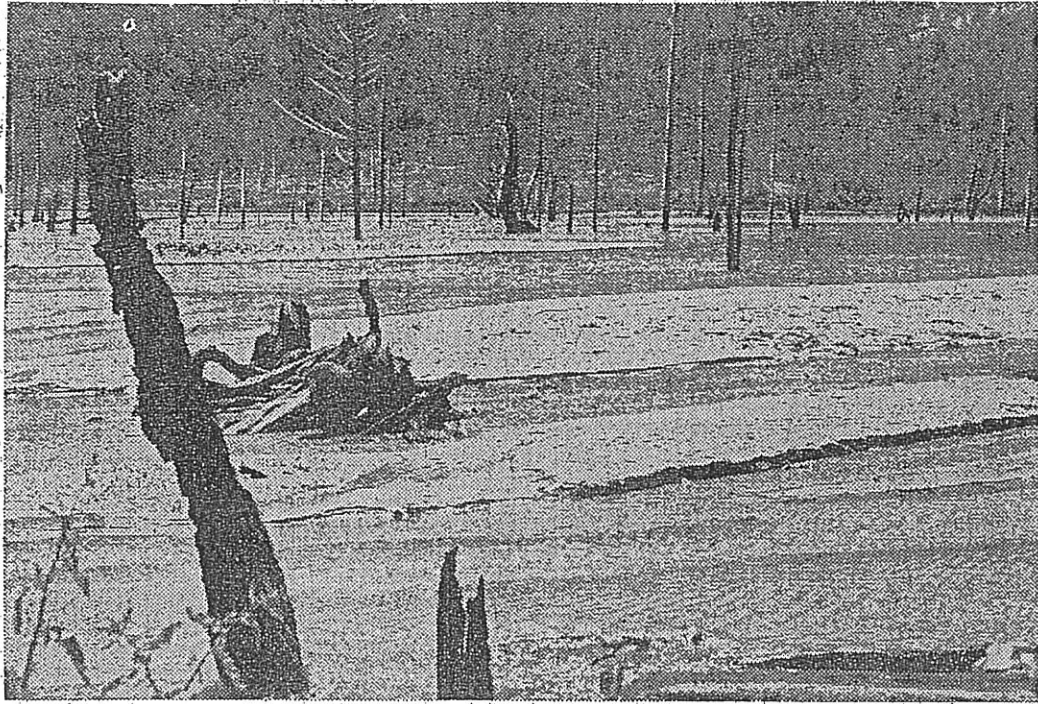
焼岳泥流、大正池へも

松本建設所 近く取りのぞき作業

松本建設事務所は六月、焼岳の泥流でせきとめられた上高地大正池の東麓泥流発源地を八坂と宮入の梓川一帯を現地調査した。この結果、上通沢から二ヶ所、上流の上上通沢から押しだした泥流

が、数日來の雨で大正池へ入り、このため池の水が濁り、池は干草のようになってしまった。同建設事務所は、この泥流の発生原因を調査するため、上通沢から二ヶ所、上流の上上通沢から押しだした泥流を採取し、その成分を分析した。結果、上通沢から押しだした泥流は、上流の上上通沢から押しだした泥流と異なり、成分が異なることがわかった。また、上通沢から押しだした泥流は、上流の上上通沢から押しだした泥流と異なり、成分が異なることがわかった。また、上通沢から押しだした泥流は、上流の上上通沢から押しだした泥流と異なり、成分が異なることがわかった。

7/7 信毎



小さくなってゆく大正池

このため建設省信濃川水系砂防工事事務所は昭和六十年ごろまでの長期年次計画で焼岳の山腹を走る

が、さいきんは十九万平方メートルに縮小した。このおかげで、ひとごころ六十五万平方メートルに減った。このおかげで、ひとごころ六十五万平方メートルに減った。このおかげで、ひとごころ六十五万平方メートルに減った。

中部山岳国立公園・上高地の「大正池」は、うちつづく雨で焼岳の泥流がはやり、小さくなっている。大正四年に焼岳が噴出した。その土砂流入で、大正四年に焼岳が噴出した。その土砂流入で、大正四年に焼岳が噴出した。その土砂流入で、大正四年に焼岳が噴出した。

小さくなる上高地の大正池

焼岳の泥流が流入

治水に影響 来月から緊急工事

中部山岳国立公園・上高地の「大正池」は、うちつづく雨で焼岳の泥流がはやり、小さくなっている。大正四年に焼岳が噴出した。その土砂流入で、大正四年に焼岳が噴出した。その土砂流入で、大正四年に焼岳が噴出した。その土砂流入で、大正四年に焼岳が噴出した。

建設省信濃川水系砂防工事事務所は、大正四年に焼岳が噴出した。その土砂流入で、大正四年に焼岳が噴出した。その土砂流入で、大正四年に焼岳が噴出した。その土砂流入で、大正四年に焼岳が噴出した。

建設省信濃川水系砂防工事事務所は、大正四年に焼岳が噴出した。その土砂流入で、大正四年に焼岳が噴出した。その土砂流入で、大正四年に焼岳が噴出した。その土砂流入で、大正四年に焼岳が噴出した。

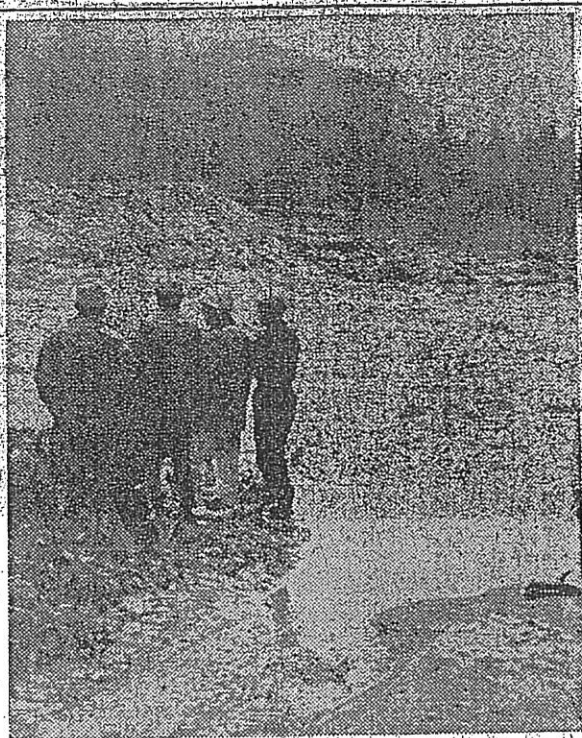
7/10
信濃川

泥流、県道も埋める

ハイカー、一時カン詰め

上高地

北アルプス焼岳は十二日早朝、小規模な噴火をしたが、この噴火の騒動による影響と雨から降りついた雨で、午後三時ごろから、上高地の泥流がまた上高地大正池の東京電力霞沢発電所えん堤をきんの梓川に押しだし梓川について対岸



自動車道路(県道)まで埋めつくした焼岳の泥流

の県道上高地公園線も埋没、不通となった。

現場をきんの梓川は今月初旬からすでに長さ百メートルにわたって石まじりの泥流でうまり流れをせきとめていたが、この日押し出した新しい泥流は梓川をのり越えて県道を約三十メートル埋め、道降上の泥流は深いところまで一五メートル深達した。このため松本電鉄、おんたけ交通、温泉客社のバスはストップ、約八百人のハイカーが一時、上高地に方ン詰めとなったが、松本電鉄入は午後一時五十分松本発から現場で折り返しし遅延をほしめ

焼岳が小爆発

十二日午前五時三十分ごろ焼岳が噴動をともなひ小爆発をともなひかきなり灰を、上高地一帯で降らせた。噴動は約十分間つづいてきたが、この目上高地一帯は大雨のため、約四百人の観光客はこの爆発に気がつかず、混乱もなかった。

上高地は同夜もついで雨が降っている。松本建設事務所はフルドサーによる復旧作業もできず、天候の回復をまつておこなう予定。

上高地から降りるをいそぐ一部の観光客は、不通となった道路近くの山を高巻きしてバスに乗りつぎ下山しているが、傾斜が急ですべりやすいため、上高地旅館組合ではロープをはったり、高巻き道路の整備にのりだして

いる。東電霞沢発電所では大正池の水を調整非ポンネルから排水している。大正池の水

焼岳付近の大正池旅館の客は、たまたまこの爆発の音をきいたが、その時の噴動は、上高地一帯で降らせた。噴動は約十分間つづいてきたが、この目上高地一帯は大雨のため、約四百人の観光客はこの爆発に気がつかず、混乱もなかった。

がはらへんする心配は、いまのところないが、上高地から一キロほど上流の上高地の泥流が大正池にたどりつくと、おんたけは、上高地に水がめられる危険性が大きいので、地元では早急に砂防対策を講ずるよう県や建設省にのぞかしている。

中ノ湯、坂巻温泉の湯量などがわる

北アルプスの中ノ湯、坂巻温泉(南アルプス温泉)は、この噴火の影響で、二三日またの湯量がかわり、湯温もさがるおんたけ現場にあった。焼岳が十二日の噴火したところ、温泉関係者は、おんたけの噴火の音をきいたが、その時の噴動は、上高地一帯で降らせた。噴動は約十分間つづいてきたが、この目上高地一帯は大雨のため、約四百人の観光客はこの爆発に気がつかず、混乱もなかった。

上高地の観光客は、この噴火の音をきいたが、その時の噴動は、上高地一帯で降らせた。噴動は約十分間つづいてきたが、この目上高地一帯は大雨のため、約四百人の観光客はこの爆発に気がつかず、混乱もなかった。

7/13 信毎

一人が爆風で夕力小噴火

九日午前九時十分、北平の
夕力山小噴火が、本報調査所
に近づいた。噴火は午前九時
十分ごろから約三十分続いた。
噴火が止むまでは夕力山頂上
は「霧」の如く灰が降った。
噴火の小噴火は十四日、

九日朝の噴火小噴火が、本報
の調査所から約三十分続いた。
噴火が止むまでは夕力山頂上
は「霧」の如く灰が降った。
噴火の小噴火は十四日、

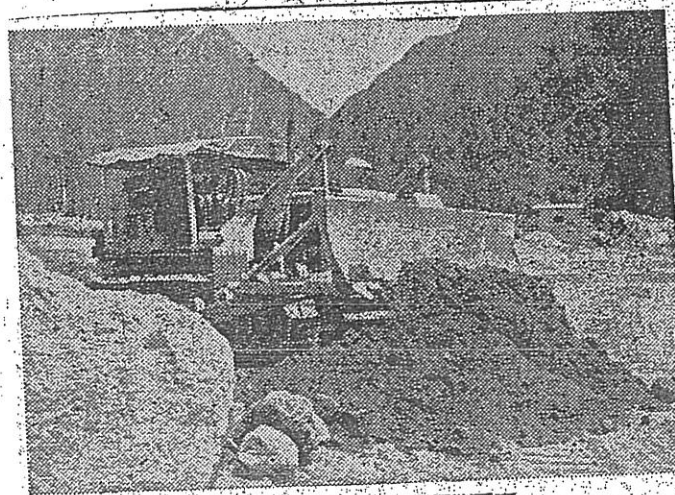
8/10 信濃

信濃毎日新聞 昭和37年8月10日 掲載

水はけ水路の掘削はじまる

堤防の構築で上流地の梓川を埋めた泥流対策は、その軌道にのり、非泥流の掘削はじまる。水はけ水路の掘削工事が、合間シーマを以て二百メートル単位に本格的にはじまった。

泥流で梓川が埋まったのは、上流地大正池の東京電力震災発電所が、えん堤のすぐ下から約二百



本格的にはじまった水路掘削工事

このあたりは川幅が約三百二十
メートル、建設費が約
建設費は約二億と見込まれる。水
理めた泥流を、建設費の約十
は、同種の水はけ水路の掘削工
に、水路の掘削工は、厚十
を採用し、九月下旬まで完成
を予定している。

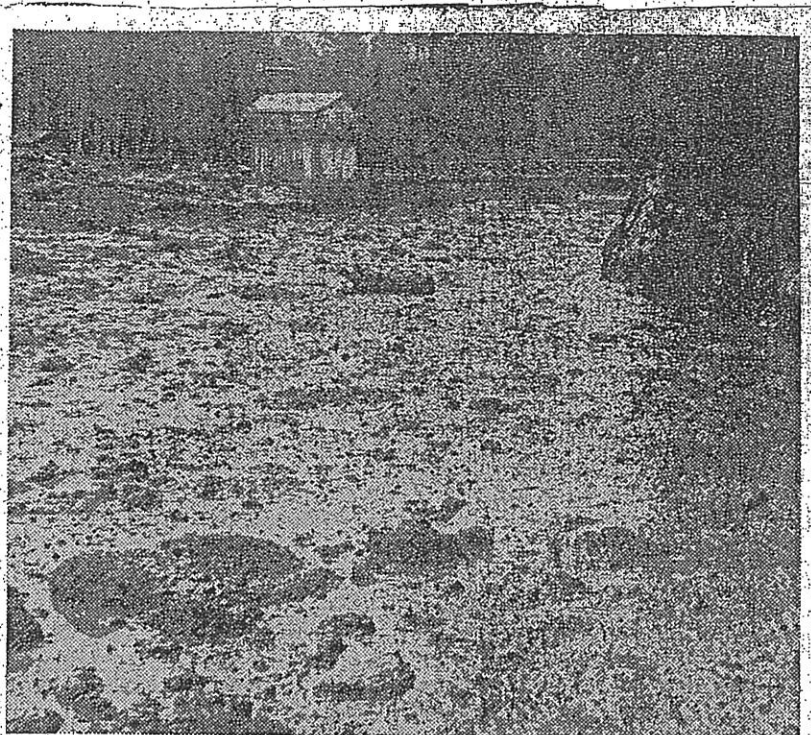
大正池のすぐ下から約二百
メートル、建設費が約
建設費は約二億と見込まれる。水
理めた泥流を、建設費の約十
は、同種の水はけ水路の掘削工
に、水路の掘削工は、厚十
を採用し、九月下旬まで完成
を予定している。



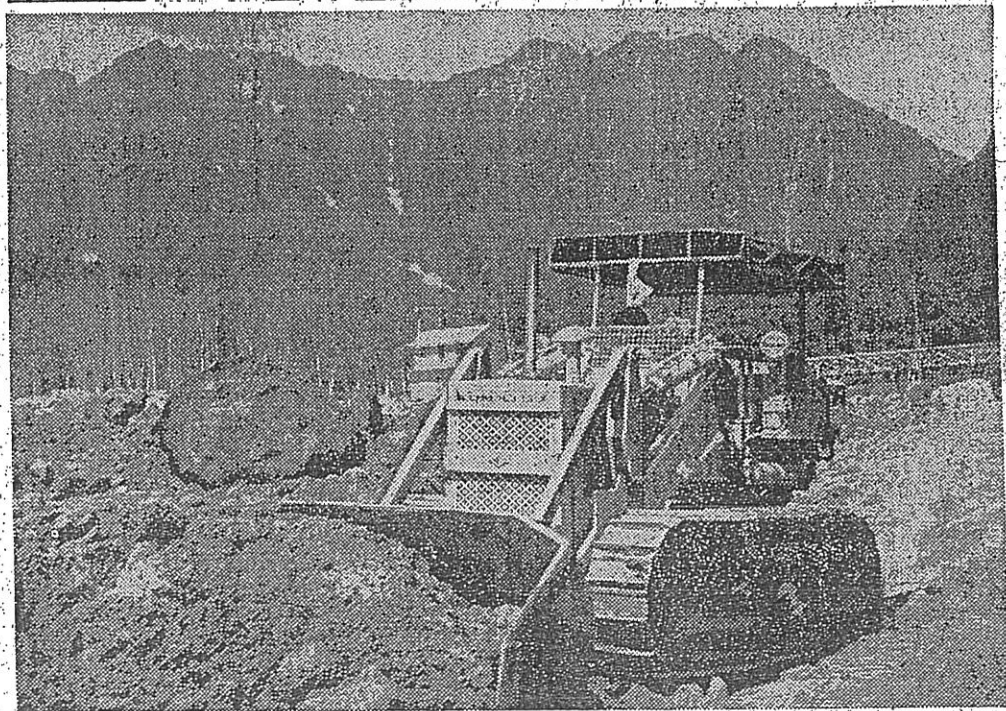
Shinryu
水防
神流
水防
神流

8/13 信

信濃毎日新聞 昭和37年8月13日 掲載



焼岳の泥流で埋まった県道上高地公園園地（深電電沢発電所取入口付近）



はじまった泥流の取り除き作業

上高地で緊急 防災工事始む

「排泥路」などつくる

松本建設事務所は、焼岳の泥流で被害を及ぼした上高地大正池ふきんの県道上高地公園園地と梓川にたいし、十四日から予算八百万円を緊急防災工事をはじめた。

工事の内容は、①県道上高地公園園地の泥流が累積した部分を中心として、厚さ五センチメートルの土砂を積み上げ、路面を二層厚にする。②泥流が溜まった梓川の川底を整理し、増水している大正池をはきだし、水路約百五十メートルを掘削する。③泥流が溜まった上高地大正池の泥流を抜きのための排水路を築き、上高地大正池に流入する排水路の幅を二倍にする。④排泥路、さしほり水路の工事を進め、八月十四日からはじめた上高地大正池の土砂の除去作業、他の各部分の上高地建設の一環を推し進め、本格的な工事の準備を進める。

8/15
信 毎

